



2023年5月11日

各位

会社名 藤田観光株式会社  
 代表者名 代表取締役兼社長執行役員 伊勢宜弘  
 (コード番号:9722、東証プライム)  
 問合せ先 取締役企画本部管掌 野崎浩之  
 (TEL. 03-5981-7723)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に発表いたしました2023年12月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正について

2023年12月期 第2四半期 連結業績予想 (2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,600	△2,200	△2,300	△1,700	△141.84
今回発表予想 (B)	28,800	1,100	1,000	1,600	133.50
増減額 (B - A)	4,200	3,300	3,300	3,300	
増減率 (%)	17.1%	—	—	—	
(参考) 前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	18,308	△3,804	△3,512	△2,558	△213.49

2023年12月期 通期連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	56,600	400	200	800	66.75
今回発表予想 (B)	60,800	3,700	3,500	4,100	342.08
増減額 (B - A)	4,200	3,300	3,300	3,300	
増減率 (%)	7.4%	825.0%	—	412.5%	
(参考) 前期実績 (2022年12月期)	43,749	△4,048	△4,461	△5,789	△483.05

## 2. 業績予想修正の理由

## (1) 第2四半期連結累計期間

訪日外国人数の増加により当社グループの主要顧客であるインバウンド市場で需要の大幅な回復が見られたほか、国内市場においても新型コロナウイルス感染者数の減少や行動制限の緩和に伴い観光需要の回復が継続しました。

このような状況の中、各事業とも宿泊部門においてADR (客室単価) および稼働率が当初予想以上に大きく上昇し、婚礼部門や宴会部門、料飲部門においても利用人員数が予想以上で推移していることから、売上高は前回発表した業績予想を上回る見通しとなりました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、増収と連動して前回予想を上回る見通しとなりました。

(2) 通期

下期（7月～12月）は前回予想を据え置き、第2四半期連結累計期間の増加額と同額の増収、増益を見込んでおります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

3. セグメント別業績予想

(単位：百万円)

	第2四半期累計期間 (1月～6月)		通期 (1月～12月)	
	今回予想 (5/11 発表)	前回予想比 (2/14 発表)	今回予想 (5/11 発表)	前回予想比 (2/14 発表)
売上高	28,800	4,200	60,800	4,200
WHG事業	16,300	3,000	33,300	3,000
L&B事業 ※1	8,500	900	17,900	900
リゾート事業	3,000	300	7,800	300
その他(調整額 ※2 含む)	1,000	—	1,800	—
営業利益	1,100	3,300	3,700	3,300
WHG事業	1,500	2,700	3,050	2,700
L&B事業 ※1	450	550	1,350	550
リゾート事業	△550	250	△350	250
その他(調整額 ※2 含む)	△300	△200	△350	△200
経常利益	1,000	3,300	3,500	3,300
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,600	3,300	4,100	3,300

※1 L&B事業…ラグジュアリー&バンケット事業

※2 調整額…セグメント間取引消去によるものです

以 上